

施策を構成する事業評価

No.	18	担当課	社会教育課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	7	芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり
施策名	1	鑑賞機会の提供に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	文化会館アエル指定管理者との連携	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.7.110112(文化会館事業振興費)
事業概要	・民間活力を活用し、菊川文化会館アエルの運営・管理について、指定管理者制度を継続し、指定管理者のノウハウを活かした、より質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供する。		
取組内容・結果等(D)	・アエル自主事業の開催件数は18件、入場者数は17,980人であった。また、自主公演事業目標動員数19,200人に対して93.6%の入場率となった。平成30年度は12月から3月にかけて大ホール小ホールの特定天井改修工事を実施したことにより、自主事業が企画できない期間があった。 ・アエルの利用促進、運営等を審議するアエル運営委員会を年3回開催した。		
課題・問題点等(C)	・自主事業の企画立案は指定管理者が請け負っており、公演内容や計画立案に際して月例報告等で相談や助言を行っている。助言に際しては、行政から過大な内容や計画とならないよう配慮が求められる。 ・優れた芸術文化の鑑賞機会の提供と文化の育成・継承・発信をアエル指定管理者の運営方針に掲げ、子どもから大人まで広く芸術文化に触れられる様々な内容の公演を計画し、実施している。そのため、集客に苦勞する事業もある。		
今後の方向性(A)	・指定管理者と行政(社会教育課)との連携を密にし、多くの市民が芸術文化に触れられるよう各種公演事業を通じて鑑賞機会の提供を進める。またアエル運営委員会の意見等を参考により充実した事業が開催できるよう進める。		

施策を構成する事業評価

No.	18	担当課	社会教育課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	7	芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり
施策名	2	市民の文化・芸術活動を支援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	文化施設の適正な管理運営	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.7.110114(文化会館整備事業費) 10.5.8.110134(公民館整備事業費)
事業概要	・文化会館アエルや中央公民館などの文化施設を、多くの市民に安心・安全に利用していただけるよう、計画的に施設整備を進める。		
取組内容・結果等(D)	・文化会館アエルの大ホールと小ホールの特定天井改修工事を実施した。 ・アエル施設・チケット管理システムリースが9月末で終了したため、システム等を更新し平成30年10月から令和6年3月末までのリース契約を締結した。		
課題・問題点等(C)	・文化会館アエルは平成4年3月に開館し25年が経過し、随所に経年劣化が見られ、各種設備の更新を必要とする。 ・中央公民館も開館から17年が経過し、劣化が徐々に出てきている。両館とも計画的な改修計画が必要である。		
今後の方向性(A)	・文化会館アエルや中央公民館の設備更新には多額の費用を要するため、改修の年次計画を立て、施設の使用に支障を期たさず安心安全に利用できるよう、施設整備を進める。 ・平成31年度は文化会館アエルの空調設備中央監視装置更新工事等を実施する。		

事業名(中分類)	文化団体との連携・支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.4.110098(芸術文化事業振興費) 10.5.4.110100(文化・顕彰活動支援費)
事業概要	・文化協会を引き続き支援するとともに、中央公民館や地区センター等で活動している文化団体との連携を図り、文化活動を更に発展させる。		
取組内容・結果等(D)	・展示発表事業を市文化協会へ委託。写生大会(118作品出品)、菊川美術展(出品46点、来場者891名)、文化祭(参加団体数45団体、来館者2,432名)、書初め展(出品4,230点)であった。 ・文化協会所属団体が児童生徒や保護者を対象に「夏休みゆかいな体験講座」を4講座開講、79名が参加した。		
課題・問題点等(C)	・協会会員の高齢化及び若年会員加入の減少が進んでおり、今後も安定的に展示発表会を委ねることが不安視される。 ・個人や団体が文化・芸術活動していく上で必ずしも文化協会に加入するとは限らなくなっており、協会会員数が減少している。 ・常葉美術館の廃止に伴い、絵画の取り扱いに関する美術館学芸員の支援が受けられなくなることや市内に適当な代替施設がないことから、令和2年度以降の美術展開催が困難となっている。		
今後の方向性(A)	・市民の自発的な芸術活動を促すためには、関連団体を取り込み文化芸術活動の振興を引き続き図っていく。 ・文化協会へ委託事業や自主事業等の活動を通して、市民の芸術文化活動を広められるよう進めていく。		

施策を構成する事業評価

No.	18	担当課	社会教育課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	7	芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり
施策名	3	文化財の保存・周知・活用を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	埋蔵文化財発掘調査事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.5.110103(市文化財保存管理整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や確認調査を実施し、その内容を広く周知するため成果を年報にまとめ公開する。 開発等、土木工事を行う上で現状で保存を図ることができない埋蔵文化財について、その内容を記録にとどめるため発掘調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、内容を広く周知するとともに公開活用を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業及び民間の開発行為に伴う埋蔵文化財に関するデータ収集のため、試掘確認調査を17件実施した。また、文化財年報(第11号)を刊行した。 公共事業及び民間開発に伴い、本発掘調査1件(小川端遺跡)を実施した。 過年度に発掘調査を行った古川遺跡、坊之谷古墳、横穴群、鹿島打上遺跡の報告書を刊行した。また、出土品と記録類(図面・写真)の整理を行った。(政所本屋敷遺跡など)。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 試掘・確認調査が開発事業に伴う場合で占められている。調査箇所により偏りが生じ、市内の埋蔵文化財を広く把握し、周知化するという目的は達成し難い。また、保存・活用すべき文化財の把握にはつながっていない。 過年度に実施した遺跡発掘調査報告書を刊行していく必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 試掘・確認調査について、開発事業への対応を効果的に実施するとともに、詳細不明な埋蔵文化財の把握や保存・活用を図るべき埋蔵文化財に関する調査も計画する。 本発掘調査については、原因者(開発事業者)と協議しながら出土品・記録類を整理し、報告書作成を進める(平成29年度に本発掘調査を実施した下田遺跡について、平成31年度に報告書刊行予定)。 		

事業名(中分類)	文化財に関する情報発信事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.5.110868(遺跡発掘調査総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財及び埋蔵文化財センターに関する情報をセンター広報紙「どきどき通信」により発信し、市民への情報提供と埋蔵文化財の活用を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 6月にどきどき通信7号、12月に同8号を4000部刊行し、市HPへの掲載、市内小・中学校等への配布、市役所・図書館等への配架を行った。 どきどきメールを開設し、文化財の展示等の情報を発信した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 市役所、図書館等へどきどき通信を配架しているが配架分の減りが少なく、十分な周知が図られていない。 埋蔵文化財以外の文化財に関する啓発にはつながっていない。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> どきどき通信の年2回の刊行は継続し、配布先を広げられるよう検討する(地区センター、市外文化財関係施設の配布部数など)。また、配架において市民の目に届きやすい工夫を検討する。 埋蔵文化財に限らず指定文化財に関する記事の掲載も検討する。(平成31年度について、市制15周年に合わせ15年間における文化財の事業を紹介する予定。) どきどきメールについて、一般の方に認知されていないので、企画展示におけるパンフレット等に周知を図る。 		

事業管理シート(施策)

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	7	芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり
施策名	3	文化財の保存・周知・活用を推進します

事業名(中分類)	文化財の保護・活用事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.4.110099(文化財保護費) 10.5.5.110103(市文化財保存管理整備事業費) 10.5.5.110143(菊川城館遺跡群整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護・調査・活用等の指導、助言を得るため文化財保護審議会を開催する。 指定文化財の環境整備及び国重要文化財建造物の維持管理事業を行い、文化財の適切な保護を図る。 国史跡菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の保存、活用に向けて、整備基本構想の策定に伴う事前調査を実施する。 歴史文化に触れ合うことを目的に、伝統工芸の「焼きひなづくり」や「土器づくり」等を体験する「どきどきフェスティバル」を開催する。また、要望により出前行政講座を開催し、文化財の周知普及を図る。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 国史跡菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)及び県史跡舟久保古墳、市史跡大徳寺古墳の維持管理を実施した。また、国重要文化財黒田家住宅の庭園の管理、消防防災設備の点検、文化財防火訓練を実施し、文化財の保存に努めた。 菊川城館遺跡群の整備基本構想策定事前調査について、意向調査(アンケート調査、関係者聴取)や類例調査を行い、また整備委員会を立上げ報告書をまとめた。 どきどきフェスティバルを開催し、小学生対象の「焼きひなづくり」と「土器づくり」の体験学習を行った。 中央公民館展示室で、菊川市南部の古墳と横穴墓、菊川市出土の古代の文字、菊川市出土の中世の銅銭と流通品と題し3回の特集展示を開催した。また、どきどきクイズスタンプラリー(中央公民館、代官屋敷資料館、塩の道公園、菊川市埋蔵文化財センター、横地城跡、小菊荘の6箇所)、どきどきストーリーツアー横地城跡2019、ワークショップ(銭グミ)を企画し、文化財の公開、活用を図ることができた。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 菊川城館遺跡群の整備計画策定に向けて、横地城跡文化財保存会等関係機関との協議を実施し、整備委員会の各委員の意見を参考に計画策定を進めていく。 今後の整備基本構想や整備基本計画の策定に向けて、遅滞なく準備・調整を進める必要がある。 菊川城館遺跡群の整備活用にあたっては、体制整備や人材確保も検討課題になる。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 菊川城館遺跡群について、平成31年度も整備委員会を開催し、整備基本構想を完成するとともに県や整備委員会等の指導を受けながら、整備基本計画の策定事業を進めていく。 伝統文化の継承及び埋蔵文化財の普及活用を図るため、どきどきフェスティバルを継続する。 文化財の周知活用を図るため引き続き中央公民館での企画展示を継続する。 		